

## 思いやりのお花畑

小四

「おはよう！」

今日も新しい朝が始まります。かわいくて元気な弟といつも通り明るいあいさつを交わします。わたしの弟は、脳性麻痺（のうせいまひ）です。お話ができるけれど、体が思った通りに動かないし、よう害があります。そして、し体不自由の弟のため、の特別しえん学級が小学校に作られ、今年ついに入学しました。

わたしは、毎朝起きたら、弟をおんぶして、家の二階から一階まで階段を下り、学校に行くじゅんぴを

します。いつしよに歯をみがいたら、着がえ、ごはん、トイレのお手伝いをします。朝のじゅんぴはバタバタでいそがしいです。朝のじゅんぴが終わると、デイスービスの人が送りとむかえをしてくれます。

弟は、お笑い番組を見て思いっきり笑うし、体を動かす番組や野球、サッカーを見ると、とてもうれしうに声を出して足をバタバタ動かします。家族で話し合ったり、公園にお出かけしたりしてすごす時間は、わたしのたから物です。

弟は、運動やストレッチを毎日しないと体がどんどんかたくなってしまいます。だから家ではうで立てやふつきん、スクワット等のきんりよ

くトレーニングを一時間以上、いた  
い思いをしながらがんばっています。  
時につらくて泣くことだってありま  
す。でも、毎日元気にすごせるよう  
にたくさんの努力をしています。

わたしは、弟と遊んでいるときに、  
いつも気になっていることがあります。  
す。それは、他の人から弟に向けら  
れている目です。

「なんで足に何かつけているの？」  
「どうしてあんなにお父さんにささ  
えられているの？」

というような目で見てくるように感  
じます。町を歩いていて子どもや大  
人も関係なく、たくさんの人たちが  
弟の顔や体を何秒間もそういう目で  
見てくると、わたしはつらくなって、

立ち止まってしまうことがあります。  
そんなときに、弟が周りの目を気に  
せず、無じゃ気に笑って遊んでいる  
すがたを見ると、わたしも勇気がわ  
いてきます。

そんなわたしと弟の日じょうの中  
で、うれしい出来事がありました。  
それは、小学校で二年生と一年生が  
遊ぶ会で楽しく交流をしてから、弟  
の教室にたくさんの友達が遊びに來  
てくれるようになったことです。そ  
の会の前は弟と先生、わたしだけ  
だったけれど、一年生と二年生、四  
年生のわたしの友達も弟に会いに來  
てくれるようになり、教室がとても  
にぎやかで明るくなりました。弟だ  
けだったクラスに友達がふえて、わ

たしは、すごくうれしくなりました。  
チャイムが鳴ると弟の教室に遊びに  
きてくれた友達が、

「また来るね！」

「楽しかった！」

と言って自分の教室にもどっていき  
ます。

どの友達も弟に必ず一言声をかけ  
て出ていきます。わたしは、その温  
かい一言一言がお花のように見えま  
した。

温かいまなざし、温かい声かけ、  
その一つ一つがその人のささえに  
なっていていきます。わたしの大切な弟  
が、どんなときも笑ってすごせるよ  
うに、たくさんの人に弟のことを  
知ってもらおう工夫をしていきたいで

す。これから弟が生きていく世界で、  
弟の教室で、さいた笑顔のお花が、  
さらに弟の周りでたくさんさいて、  
温かい思いやりのお花畑ができます  
ように。